

青少年健全育成茨城県推進大会

平成21年度青少年健全育成茨城県推進大会が開催され、青少年育成関係者と子育て中の親等、約1,500人が参加し、家庭における親のあり方や地域社会における大人のあり方について考え、家庭、学校、地域社会が相互に連携しながら青少年健全育成活動のさらなる発展を期することとしました。



大会概要

主催 茨城県・(社)青少年育成茨城県民会議・青少年育成市町村民会議

日時 平成22年2月10日(水) 10:00～15:00

場所 県民文化センター大ホール

参加者 青少年育成関係者 PTA・学校 保育所、幼稚園関係者 青少年育成地域活動団体 県・市町村関係者 一般県民等 約1,500人

内容 ○中学生の主張発表

○愛の記録朗読

○実践活動発表

「親が変われば、子どもも変わる」運動実践活動

「親子ふれあいミーティング」開催事業

○「青春応援メッセージ」優秀作品表彰

○講演

中学生の主張発表

平成21年度少年の主張茨城県大会(10月3日開催)では、19,643名(131校)の中学生の中から選ばれた10名が発表しました。

本大会では、その中から県知事賞、県議会議長賞を受賞した2人の中学生が発表し、その発表は聴衆に感動を与えました。

■茨城県知事賞

「自分らしさを見失わずに」

筑西市立協和中学校1年
廣瀬 菜摘



■茨城県議会議長賞

「かけがえのない今を生きる」

筑西市立下館中学校3年
廣瀬 麻史恵



青春応援メッセージ表彰

平成21年度青春応援メッセージは、小・中・高校の124校から8,396作品、一般成人から162作品の応募がありました。その中から15作品(10ページに掲載)を優秀作品として選び表彰を行いました。



愛の記録朗読

茨城県PTA連絡協議会では、毎年、家庭教育実践事例集「愛の記録」を発刊しています。

今回の大会では、平成20年度少年の主張茨城県大会で茨城県知事賞を受賞し、昨年度の推進大会で主張発表をした谷中恵美さんのお母さん谷中洋子さん(筑西市)が、子を持つ親として、日々悩み、笑い、そして大きな愛情でわが子を育てた子育て体験記を朗読し、その内容は参加者の皆さんの共感を呼びました。

